

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会
- 特別委員会

各常任委員会では、閉会中の所管事務調査や6月定例会で付託になった議案・陳情などについて審査を行いました。なお、特別委員会では継続事件について審査を行いました。

総務常任委員会

(吉村幸治委員長)

☆辺地に係る公共的施設の総合整備計画

問 市道大峯・永里線と上大峯線の2路線及び市道新田山・花房線の事業費はそれぞれいくらか。

答 大峯辺地が2路線で1億6100万円、新田山・花房辺地が5000万円である。

問 辺地事業の交付税措置はどうか。

答 辺地債を借り入れ、元利償還が始まってから80%の交付税措置がされる。

意見 辺地事業が一番有利な財政的裏付けがあるので、対象地域を洗い直して積極的に計画すべきである。

☆平成24年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

問 コミュニティセンター建設助成事業の内容は。

答 本事業は、宝くじの社会貢献広報事業のひとつである。自治会の公民館建設に対する助成事業で、建設費に對して5分の3の助成があり、上限が1500万円となっている。

なお、今後の事業については、申請しても採択基準があるので、採択されるかわからない。

問 庁舎駐車場用地の内容は。

答 本庁の西側駐車場につながる土地で、駐車台数は12台分である。なお今回は土地購入だけで砂利による整備までの計画である。

☆「消費税増税に反対する意見書の提出を求める陳情」の審査過程での意見

- 消費税の必要性は認める。
- 今、消費税率を引き上げる時期ではない。
- 国の動向も見て継続して審議すべきである。



建替えが待たれる田平自治公民館

注釈

辺地債とは：辺地対策事業債といい、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づき、辺地とその他の地域との間における住民の生活文化水準の著しい格差の是正を図ることを目的として行われる公共施設の整備や情報通信基盤整備等に対して充当される地方債である。

償還期間は据置期間を含み10年である。

▶市道 大峯・永里線



▶市道 新田山・花房線



文教厚生常任委員会

(大川内富男委員長)

所管事務調査

(調査事項)

○平成24年4月に統合した末吉中学校・財部中学校の状況

(平成24年5月29日)

末吉中学校には南之郷中学校より合計11名が編入し、全体的にはスムーズに移行できたとの説明であった。

その理由として、平成23年度において末吉中学校と南之郷中学校の合同学習を行うとともに、今年度の教職員異動において、旧南之郷中学校より教職員3名と、事務職員1名の計4名が末吉中学校へ異動となり、編入した生徒にとってきめ細かい精神的なケアができていたことが大きな要因と考えられるとのことであった。

財部中学校には、財部南中学校より14名

☆平成24年度一般会計 予算の補正(所管分)

財部北中学校より4名計18名の編入があり、財部南中学校のバトミントン部に在籍していた新3年生7名については、財部中学校に同部がなかったため、統合前の両校長間の共通理解により、統合後一学期のみ存続させる特例措置を講ずるなどの配慮がなされていた。

財部北中学校より4名計18名の編入があり、財部南中学校のバトミントン部に在籍していた新3年生7名については、財部中学校に同部がなかったため、統合前の両校長間の共通理解により、統合後一学期のみ存続させる特例措置を講ずるなどの配慮がなされていた。



県大会で熱戦中の財部中バドミントン部

問 療養介護医療費給付事業810万6千円の追加は。

答 児童福祉法に基づき県の事業として重症心身障害児施設で給付を受けていた方々のうち18歳以上については、障害者自立支援法に基づき市町村の給付となったため、この度10名が新たに療養介護事業の対象者となり、追加になったことによるものである。

問 その他、社会教育施設費20万円の追加は。

答 平成10年度に末吉町尾崎山地区に、集会施設(118・56㎡)を建築したが、敷地が最大88mm下がっており、そのため土の硬軟・土層の構成等を判定する基礎耐力度調査を行う費用である。

意見 築後の経過年数が浅いことや、今後の管理も考慮したうえで詳細な調査を行う必要あり。

☆平成24年度国民健康保険特別会計予算の補正及び平成24年度介護保険特別会計予算の補正

国保特別会計461万8千円の減額、後期高齢者医療特別会計245万9千円の減額はともに人事異動による職員給の減額である。

☆平成24年度曾於市介護保険特別会計予算の補正

精算による償還金5404万円、及び一般会計繰出金1671万1千円等である。

歳入の主なものは、支払基金交付金799万円、県支出金3817万2千円、一般会計繰入金1119万1千円、23年度からの繰越金2446万3千円等であり、主な歳出は人事異動による介護保険総務職員給1121万6千円、介護給付費の



尾崎山地区集会施設の調査

建設経済常任委員会

(山下 諭委員長)

所管事務調査

(調査事項)

○曾於地区春季畜産共進会(平成24年4月13日)

J Aそお鹿児島とJ

Aあおぞら主催による春季畜産共進会に96頭の出品があり、曾於市は36頭の出品で、1部・2部・4部で最優秀賞を獲得した。

本年は、県共進会と、5年ごとに開催される全国和牛能力共進会もあるため、上位入賞が期待される。

○曾於市ブランド16品

目認定記念美食会

(平成24年4月18日)

昨年認定した市ブランド品を対象に、鹿児島市城山観光ホテルで記念の美(試)食会(曾於市と当ホテル共催)が開催されたので

参加した。参加料は自己負担。当日は、365名の参加者であったが、ブランド品の確認や生産者のPRを聞きながら試食をした。

☆平成24年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

問 新たに国の制度として創設された就農促進のための事業内容は、

答 農業への就業を促すもので、青年就農給付金事業と人・農地プラン作成事業からなる。給付金事業は、準備型(2年間)と、経営

問 地域振興住宅26戸の建設場所は、

答 末吉地区22戸(柳迫9戸、深川1戸、諏訪6戸、檜5戸、岩北1戸)、大隅地区1戸(笠木1戸)、財部地区3戸(沢田2戸、大川原1戸)である。

金事業とは整合性をとること。

問 災害復旧事業を一般財源831万円で行う理由は、

答 本事業箇所は、昨年の豪雨により用水路が決壊し、現在、仮通水中の三升木場地区(大隅町笠木)である。補

助対象の災害復旧事業は、原形復旧であるので、災害の大きさから、今後の予防も考えて一部モルタル吹きつけ、余水吐きの撤去、使用道路の補修を計上する。これについては、補助対象となるよう県等と協議していく。



災害復旧事業調査

問 閉校した中学校跡地利用もすべきである。また、現況は末吉地区に集中している。建設の目的は、市内過疎地対策であるので、均衡ある発展が図られるよう場所選定はすべきである。

○和解の締結について

問 平成23年11月22日に市有機センター脱臭棟倒壊事故が発生し、これに対する設計業者、工事施工業者及び市との間の再建築費用負担について和解案が示された。内容詳細は、

答 再建築費用総額が4506万4500円(解体費用918万7500円、設計費用187万7千円、建築費用3400万円)で、この負担割合を市3分の1(1504万9500円)、業者3分の2(設計者NTCコンサルタンツ株200万2千円、工事施工者の



再建中の有機センター脱臭棟

鹿島建設株2801万3千円で和解した。再建築法としては、今回の事故発生原因から側壁のない開放型の脱臭棟を予定している。今後、再度同様な事故のないよう万全を期するため建物、及び機械を含めて専門業者に保守を委託する。

○市道の廃止及び認定

平成23年度に完了した末吉都市計画事業上町土地区画整理事業54ha内にある旧道を廃止し、新たに62路線1万6436mを市道として認定する。

パークゴルフ場・フラワーパーク整備事業調査特別委員会

(渡辺利治委員長)

平成24年6月4日熊本県南阿蘇村のパークゴルフ場3箇所を調査

施設の管理運営は、(有)くぎのむらに委託している。

【施設の概要】

○久木野パークゴルフ場
平成7年7月に開設し、施設の内容は、総面積2万7千㎡・18ホール・パー66・コース延長806mで、クラブハウスは、平成12年7月に完成している。

また、工事費409.9万円、設計委託料226万円となっている。料金体系は、大人(中学生以上)400円、子ども(小学生以下)200円となっている。

特徴として、世界一を誇る阿蘇カルデラ内にあり、阿蘇五岳の大パノラマを眺望しながらプレーできることである。

○長陽パークゴルフ場
平成15年10月に開設し、施設の内容は、総面積6万6115㎡・45ホール・パー165・コース延長2353mで、工事費1億3900万円、クラブハウス・食堂・売店等を設置している。

料金体系は、大人(中学生以上)500円、子ども(小学生以下)300円となっている。施設の管理運営は、(有)ちようように委託している。

○一心行パークゴルフ場
平成18年7月に開設し、施設の内容は、多目的広場となっており、総面積4万3998㎡・

3コース・パー99・コース延長1165mで、グラウンドゴルフ場が2コート常設しており、管理事務所・事務室・休憩コーナー・トイレ・倉庫等を設置している。工事費の内訳として、測量・設計監理委託費3518万円・用地購入費1億877万円・本工事費3億9645万円・総事業費5億4040万円となっている。料金体系は、大人(中学生以上)400円、子ども(小学生以下)200円となっている。施設の管理運営は、(有)熊本ゴルフ倶楽部に委託している。

【問題点や改善策】

○久木野パークゴルフ場
・利用者の高齢化や固定化で利用客が伸び悩んでいる。
・上級者と初級者との格差が生じているため、初心者の利用が少ない。

○長陽パークゴルフ場
・土、日、祝日の初心者や家族連れと、常連客との間で、プレー進行に関するクレーム等がある。
・初心者、子ども連れのケガが発生している。
・施設内に散水栓が不足している。
・クラブハウス内へ雨水の浸透等があり、土のう等での浸水防止策を行っている。

○一心行パークゴルフ場
・カップ切に時間と労力が非常にかかる。
・グリーン下の土壌に問題がある。
・コース間移動に階段があるため、高齢者にとつては辛い。
などが問題点としてあげられ、この改善策と

【まとめ】

利用計画を含めた収支計画・愛好者の数・利用者数の推移・管理費について、具体的な詳しい表やグラフ等で、説明を受け、健全な収支計画に基づき管理運営されているものであった。

また、南阿蘇村の阿蘇ファームランド等の施設へ、年間約600万人の観光客が訪れるとのことである。パークゴルフ場についても、その相乗効果があることと、自然環境と管理運営の良さを感じた。

今回、パークゴルフ場・フラワーパーク整備事業に関する調査として、南阿蘇村のパークゴルフ場を視察したが、建設や課題に向けた取り組み姿勢は、大変参考になるものであった。



風光明媚な南阿蘇村のパークゴルフ場